見附市立見附特別支援学校グランドデザイン

【国】　共生社会の形成
〇インクルーシブ教育システムの構築
〇特別支援教育の推進
〇合理的配慮と基礎的環境整備・多様な学びの整備・教職員の専門性の向上

【県】　個を伸ばす教育の推進
〇ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し、未来を切り拓く、たくましいひとづくり
〇一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進

目指す学校像
〇一人一人を大切にし、みんなの笑顔が溢れる学校
〇保護者、関係機関との連携を大切にし、信頼される学校
〇見附市の特別支援教育の充実に貢献する学校
〇教職員が互いに支え合い、高め合う学校

【見附市】
◆見附市教育大綱　基本理念
〇ふるさと見附を愛する子どもの育成
〇世に役立つことを喜びとする子どもの育成
◆学校教育の重点
〇たくましく生きていく「生きる力」の育成
〇共創郷育
　地域の人材と資源を活用した教育の充実
◆多様なニーズに対応した教育支援の充実
〇全職員の共通理解と全校体制による効果的な支援
〇関係機関等と連携・協力による一貫した支援

SWS
◆環境整備
◆健幸教育
◆防災安全教育

学校教育目標
地域で豊かに自分らしく生きる
〇めあてをもって取り組もう　〇自分のできることは自分でしよう
〇みんなと仲良くしよう　〇健康な体と心をつくろう

コミュニティ・スクール
〇「学校の積極的な情報提供」→「熟議の創出」→「協働の取組」→「評価の共有」のサイクルによる地域に根ざした学校づくりの推進

ユネスコスクール
〇交流及び共同学習を中核としたESDの推進
〇名木野小学校との活発な日常的な交流
〇居住地校交流の充実

めざす子どもの姿
〇すべての活動に意欲的に取り組む子ども
〇身近なひと、もの、ことに気づき自らかかわる子ども
〇できることを増やし、自ら役割を果たそうとする子ども
〇丈夫な体をつくる子ども

小学部目標	中学部目標	高等部目標
のびのびと活動し、楽しい学校生活を送ろう	仲間とのかかわりの中で、自分で考え、仲間とともに活動しよう	社会の一員として、地域の中で生活する力働く力を身につけよう

つながりとひろがりのある教育課程の編成
〇小学部・中学部・高等部のつながりと家庭・学校・地域社会へのひろがりを意識した継続的な指導

指導の重点
「できる力」を伸ばす

個別の教育支援計画・個別の指導計画の確実な活用
〇PDCAサイクルの確実な実践と個別の指導計画の活用
〇関係機関との連携と個別の教育支援計画の活用
〇かがやきファイルの利用

地域を教室にした教育活動の推進
〇学習に利用できる地域資源の開拓と積極的な活用
〇校外学習等における公共交通機関の積極的な利用

学習指導の充実
〇PDCAサイクルによる一人一人のニーズに応じた指導・支援の工夫改善
〇組織的・協同的な取組による専門性の向上を図る研修の充実と私の授業改善

生徒指導の充実
〇集団活動をとおして、自己肯定感・自己有用感を育み、自立し社会参加する力を育む生徒指導

キャリア教育の充実
〇キャリア教育の視点を重視した小学部から教育活動の充実
〇一人一人の適性、実態、願いに基づいた進路指導を推進

＜身辺自立の確立と人間関係の基盤形成＞		＜社会生活能力と自己表現力の育成＞	＜社会生活能力の確立と自己選択力、自己決定力の育成＞
〇生活リズムを整える 〇身の回りのことを自分でやろうとする 〇学習や自分の好きな遊びに取り組む 〇自分の役割がわかる 〇いろいろな人と関わろうとする 〇自他への関心を高める	〇身の回りのことが自分でできる 〇学習やいろいろな遊びに自分で取り組む 〇自分の役割を果たそうとする 〇コミュニケーション能力を育てる 〇地域や社会への関心を育てる	〇基本的生活習慣を身に付ける 〇自主性、主体性を育てる 〇作業能力を育てる 〇コミュニケーション能力を高める 〇地域や社会への参加を促す	〇生活を豊かにするための基礎的な知識、技術、態度を身に付ける 〇主体的に働く力を育てる 〇家事や労働に必要な力を育てる 〇自己選択、自己決定力を育てる

第Ⅰ期（小学部前期）	第Ⅱ期（小学部後期）	第Ⅲ期（中学部）	第Ⅳ期（高等部）
学校生活の入り口にあたる時期。気持ちを安定させ集団に慣れることや、学習経験を広げることを大切にし、家庭での生活も含めた子どもの生活全体を豊かにする時期。	第Ⅰ期で身に付けた集団生活の力を基礎に、集団の中で見通しをもって自ら生活や学習に取り組む力を育てる時期。	小学部6年間の学校生活と学習経験を基礎に、様々な生徒同士の関わり合いと仲間とともに物事を進めていく力を育てる時期。	学校生活最後の学部として、仲間とともに生活する力・働く力を育て、学校の中心的な役割を果たすとともに、余暇の有意義な過ごし方を学び、豊かで意欲的な生活を送る力を育てる時期。